

令和6年度 教育懇談会におけるご質問・ご意見要旨一覧(全会場)

※いただいたご質問・ご意見について、懇談内容ごとに分けて集約しております。また、総括して回答しているところがあります。

【児童会館60周年～みんなで科学実験～】

開催日	会場	参加者からのご質問・ご意見	教育委員会からの回答等
令和6年 11月2日 (土)	帯広市 児童会館	子どもが児童会館のクラブ活動に参加しており、学校ではできないような実験等を体験できるため、ありがたく思っている。 様々な施設が1つの館に入っているため、上の子がクラブ活動に参加している間、下の子と一緒に遊び場で遊ぶことができて助かっている。	(意見のみ)
		展示室は、規模が小さいながらも、面白いコンテンツが揃っていると思った。小さい子どもがいない大人は、なかなか児童会館を訪れる機会がないと思うので、大人が参加できるイベントがあると、科学館機能を理解してもらうのに役立つと思う。もう少しPRを。	大人単独でのイベントは開催していないことから、今後の課題としてお預かりする。
		家族で利用しているが、引き続き子どもが興味を持つような企画を実施してほしい。	児童会館も60周年を迎える中で、これまでリニューアルを行ってきた。 引き続き利用者の要望を伺いながら、満足していただけるような施設としていきたい。

【おびひろ市民学を学ぼう】

開催日	会場	参加者からのご質問・ご意見	教育委員会からの回答等
令和6年 11月17日 (日)	とかちプラザ	体験的な学習について、各学校それぞれの地域性を持った体験なのか、帯広市としてこうさせたいという体験なのか。何か市教委としての考え、目指す方向性のようなものはあるのか。	学校独自で色々な体験をしている。様々な分野について経験してもらうため、学習の内容に偏りを持たせることは考えていない。 学校で独自色を出すために、各校において色々な手法を検討され、校長の裁量で取り組んでいただいているところ。
		不登校児童の支援に関わって、帯広市では保護者を含めたケース会議と風土調査について、どのような取り組みをしているのか。	ケース会議については、関係各位で集まりながら現状等の実態を把握しつつ、アプローチの手法や役割分担を協議している。 家庭の状況も多様であり、当事者・保護者も含めた会議の開催については、今後の参考にさせていただきたい。 風土調査は、中学生を対象に、1人1台端末を活用しながら、学校において不登校の未然防止や実態把握を行っており、良い効果が出ているという報告も受けている。まだ開始から半年も経っていないため、今後小学校に広げていくことも検討している。
		他自治体のように、保護者を交えたケース会議と、予算をつけた上での風土調査に取り組んでほしい。	詳細について、他自治体の教育委員会の状況を確認させていただく。
		ひろびろチョイスの取り組みが始まっているが、情報を必要としている子どもや保護者に届いていない実態があるように感じている。 不登校児童の支援にあたっては、学校や先生によって情報提供対応に差が出ないように、一律の指針を示されてはどうか。	ひろびろチョイスも含め、情報については、保護者向けの楽メの配信によりお知らせしている。 教育委員会としての指針については、不登校対応等について一括りにしにくいところもあるが、学校として一定程度考え方を整理しており、それらを踏まえながら対応している。学校の対応を後押しできるような支援や指導をしていきたいと考えている。
		ひろびろチョイスを利用している。チョイスの中で色々な学びや体験にに繋がっていただいている実感がある。 今はまだ試行錯誤を重ね頑張って下さっている段階で、取り組みを発信するまでの形ができていないため、公表できない辛さがあると思う。	ひろびろチョイスは全道的に先駆的な取り組みとしてスタートしているが、開始からまだ1年半。工夫を重ねてきた取り組みも、もう少しで形になると思うので、今しばらくお待ちいただきたい。
		学校に行けない子は年々増えていると思うが、その子どもたち同士が繋がったら有用なコミュニティができるのではと思った。さらにその親同士で繋がれば、お互い勇気づけられたりすると思う。 学校や教育委員会にやってほしいというだけでなく、私たち自身ができることもあると思うので、何かしらアイデアを出し合って繋がれるようになればいいなと思った。	(意見のみ)
		中学校進学に向けての説明会において、知的学級に在籍した場合、進学できる高校は限られるとの主旨の話が合った。在籍するとエレベーター式に進路が決まってしまうのではなく、子どものやりたいことに寄り添う方向になってほしい。	知的学級だから高校の進学が狭められてしまうと言い切れるものではなく、近年では特別支援学級から普通学級に進学しているケースもある。子どもの夢と進路の実現に向け、学校の先生としっかり話をさせていただくことが大切と考えている。 また、就学指導も関わってくると思うので、子どもの実態を鑑みながら、教育委員会や学校が相談に乗ることもできると考えている。